

タイトル 「第 58 回高 P 連川崎地区大会 研究発表」
発表者 生田高等学校 PTA 会長 木野内 剛

学校名 生田高等学校 P T A

研究発表 テーマ「生田高等学校 PTA 活動における ICT 利活用」

1 はじめに

昨年度から、コロナの影響で、学校行事の中止や規模縮小が余儀なくされ、従来行われてきた PTA 活動が実施できていない状態であります。今回の発表では、一部、コロナ以前の活動を交えてご紹介させていただきます。

2 学校紹介

最初に、生田高等学校についてご紹介いたします。川崎市北部の緑の多い丘の上にある本校は、のびやかで規律正しい校風「自由と規律」の元で、互いに思いやる心をもち学生生活を送っています。また、ICT 利活用授業研究推進校 6 年目を迎えた本校は、ICT 環境の整備と授業での利活用に積極的に取り組んでおります。使い慣れた個人のスマートフォンを利用した授業は、生徒にも好評です。本校は、バス利用の便がよく、小田急線、JR 南武線、東急田園都市線からバスを利用して、川崎市全地域、及び横浜市方面からの通学者もいます。昭和 44 年 4 月に開校した本校は、令和元年に創立 50 周年を迎えました。

これを機に、制服が改定されました。ネクタイとリボン、気品の色、濃紫（こむらさき）のストライプで、女子のスカートは、オリジナル、チェック柄 2 種から選択でき、組み合わせが自由で、デザインがオシャレと、生徒からも大変好評です。また、ジェンダーレス制服を採用し、女子もスラックスを着用できます。

新制服



紺スカート 女子スラックス チェックスカート

創立 50 周年を機に、生徒を支える「学習環境」や「設備環境」が整えられました。グランド・テニスコートの改修工事が完了し、水はけ良く、ふかふかになったグランドで、思いっきり活動しています。「自習室」は、各席がパーテーションで仕切られ、集中して勉強ができる環境です。

また、進路関係の情報が充実している「進路カフェ」も気軽に利用できます。

「高速度大容量の校内 LAN」の整備、や「授業支援アプリ」や「学習活動支援アプリ」の活用など、ICT を積極的に利活用した「課題解決型協働学習」を実践しています。



ICTを利活用した
課題解決型
協働学習

「部活の生田！」とも言われる、本校は、部活動も盛んに行われています。部活動の加入率は 90%です。文武両道を、主体的に実践しています。令和 2 年度は、美術部では、総合文化祭神奈川県大会教育長賞。科学部では、全国高等学校総合文化祭文化連盟賞を受賞しました。

生徒一番人気の行事は、文化祭「银杏祭」です。各クラス、部活動、有志団体が、様々な工夫を凝らした展示や企画を準備します。文化祭の最後には後夜祭があり、軽音楽部のライブ、ダンス部の発表、有志のヲタ芸発表などに加え、花火が打ち上げられます。仲間と一致団結し作り上げる银杏祭は、一番盛り上がる行事です。



体育祭は、星座によって火（ひ）・水（みず）・地（ち）・風（かぜ）の四つの宮を組織し、宮（きゅう）対抗で様々な種目で競い合います。3 年間同じメンバーなので、団結力も高く、とても盛り上がる行事です。体育祭の最大の魅力は、各宮の応援合戦で行うペアダンス。手作りの衣装にも趣向が凝らされ、参加者も観覧者も楽しめます。

また、体育祭恒例の各団長による宣誓は、パロディ形式になっており、体育祭の風物詩となっています。

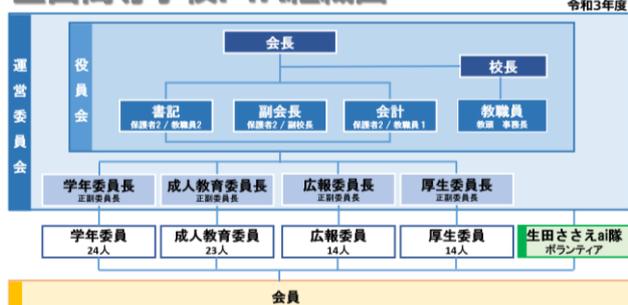
近隣の「百合ヶ丘高校」とは、「クラスマッチ・百生戦（ひやくせいせん）」が合同で行われ、大いに盛り上がります。昨年からのコロナ禍で、現在は百生戦を自粛していますが、日常が戻り、伝統のある「百生戦」が再開できる日を楽しみにしています。

高大連携教育は、「明治大学理工学部・農学部」と連携して行っている事業です。大学での講義に触れることにより、主体的な進路選択につながっています。

3 PTA 活動紹介

コロナ以前の活動を交え、現在の活動をご説明いたします。PTA 活動を支える組織は4つの委員会とボランティアを中心に活動を行っています。

生田高等学校PTA組織図



【学年委員会】

各学年・各学級に係る PTA 活動に関する活動を企画・運営します。主な活動はザーと制服リサイクルです。银杏祭でのバザーは、毎年盛況です。売り上げは生徒会費へ寄付し、わずかですが生徒の活動に寄与しています。制服リサイクルは、卒業やサイズアウトにより、不要になった制服を有効利用しています。今まで実施していた活動は、行事などに伴うものが多く、この新型コロナ禍では従来形では実施することができなくなりました。委員会では従来の活動を今までとは違った形で実施したり、新たな企画を検討したりと、生徒の学校生活に貢献できるような活動を模索しています。

学年委員会の活動

これから何ができるのか？



【成人教育委員会】

PTA 会員の教養の向上や親睦をはかるための研修を企画・運営しています。2019 年度は、「ハワイアンリボンレイで作るコサージュ」の講習会と「横須賀の観光スポットを巡る」親睦バスツアーを企画&実施しました。講習会やバス旅行に参加することにより、保護者間の親睦が深まり、学校を身近に感じられるようになったと、参加者にとっても好評でした。昨年度（2020 年度）は、コロナの影響で、講習会及びバス旅行を実施することが叶いませんでした。オンラインによる委員会を年間7回開催しました。委員の都合がつきやすい夜の時間帯で開催することにより、大勢のメンバーが参加できました。定期的にオンラインで集まることにより、保護者同士の交流や意見交換が密にでき、コロナ禍ならではの、とても有意義な委員会となりました。今年度（2021 年度）は 11 月開催に向けて、対面での講習会の開催を目指しています。マスク生活を楽しめるよう、「マスクケース・マスクチャーム作り」の講習会を企画しています。密を避けるために、午前・午後の2回に分けて開催し、少人数で講習会を行います。

成人教育委員会の活動



【広報委員会】

体育祭、文化祭、球技大会（他校との交流戦）、など行事の取材を主にしています。現場へ入り、保護者のご家庭でご覧になっても、当日の様子が分かる臨場感ある写真を撮るよう心がけています。文化祭では、「広報です、写真いいですか？」と声がけすると、子供達も笑顔で答えてくれました。中には「広報の方ですか？」と写真を撮ってほしくて探してきてくれるコスプレの子もいたり、とても楽しい取材ができました。コロナ禍での活動は従来の会議、取材、など対面のものに関しては、ほぼできませんでした。やりとりは全て SNS、メール、ストレージなどを利用して、時にはオンライン会議もありました。年度最初の号は、教員、事務職員の方など全職員の紹介です。

「マスクのない顔を初めて見た！」という、嬉しいお声をいただきました。コロナ禍で学校に行く機会が減ってしまった保護者の皆様に、学校の様子、PTAがどのように活動しているのか…など、分かりやすく伝えられるような、広報誌作りを心がけていきたいです。

広報委員会のこれから



マスクのない顔



LINEによるデータの交換

【厚生委員会】

生徒たちが安心・安全に通学できるための交通安全活動を行っています。コロナ以前の活動は、毎年4月と12月に近隣の百合ヶ丘高校と合同で、学校周辺の重点箇所先生方と厚生委員、ボランティアとで生徒に声掛けを行います。生田高校は約60%の生徒が自転車通学をしているので、その安全・マナー指導にも力を入れています。毎年5月ごろ、2年生の自転車点検を行っています。今年度は177台を点検し、それぞれの自転車に点検結果を添付して、各ご家庭に修理を促しています。これからの活動方針は、コロナ対策を取りつつ、従来の活動を実施します。文化祭へ参加できるようになったら、模擬店の出店並びにハザードマップの展示に力を入れていきたいと思えます。

【PTA活動におけるICT利活用事例】

PTA活動におけるICT利活用事例についてご紹介をします。新型コロナウイルス感染防止を契機に、昨年度より、役員会及び運営委員会をリモートで開催しています。使用アプリは「グーグルクラスルーム」です。最初はだれもが、戸惑いましたが、アプリの使い方の講習会で丁寧にご説明していただいたおかげで、今では気楽に使用され、大変好評です。役員や運営委員との日常的な連絡はラインも活用しています。会議資料は画面共有し、ペーパーレス化によるゴミ削減にも貢献しています。今後も、ICTを積極的に活用した、「生田らしいPTA活動」を推進していければと考えています。以上